

カタストロフィー

巨大災害と森林

—復興と再生をめざして—

平成23年3月11日の東日本大震災では大きな揺れによる地震被害だけでなく、巨大津波による未曾有の災害が発生しました。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能漏れで東日本の森林は広く汚染されてしまいました。本講演会では、(独)森林総合研究所が行ってきた被害調査の結果や研究の取り組みを詳しく紹介するとともに、(独)放射線医学総合研究所の専門家からもご講演いただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

理事長挨拶 13:00 ~ 13:10

講演

「原発事故による環境汚染と森林生態系への影響」13:10 ~ 13:50

吉田 聡氏 ((独)放射線医学総合研究所 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクト プロジェクトリーダー)

「森林内における放射性物質の分布」13:50 ~ 14:30

金子 真司 (立地環境研究領域 領域長)

「森林除染と雪解け水の放射性セシウムの濃度」14:30 ~ 15:10

坪山 良夫 (水土保全研究領域 領域長)

融雪期の渓流水調査



休憩 15:10 ~ 15:30

講演

「津波被害を軽減する海岸林の働き」15:30 ~ 16:10

坂本 知己 (気象環境研究領域 気象害・防災林研究室 室長)

被災した海岸林の調査

「地震と津波による木造建築の被害」16:10 ~ 16:50

青木 謙治 (構造利用研究領域 木質構造居住環境研究室 主任研究員)



閉会挨拶 16:50 ~ 17:00

被災した木造住宅

